

第5次総合計画 前期基本計画 施策評価シート

施策名	安心できる地域医療体制の充実		施策番号	2
主担当部署	部名	部長名		
	保健福祉部	小林 幹夫		

計 画 (Plan)				
総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり
		施策展開の方向	1	生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる
施策展開の方向 (内容)	医療機関や大学など、本市の恵まれた地域資源の活用により、若い世代から高齢者まで、より多くの人が体力づくりや食生活の改善などを通じた健康づくりに取り組むまちをつくります。 健康診査の受診を促すなど、病気の予防や早期発見、早期治療に向け総合的に取り組むとともに、地域の医療機関の機能強化や救急医療体制の維持、充実に支援し、いつまでも健康に暮らせるまちをつくります。			
施策内容	いつでも安心して適切な医療が受けられるよう、より質の高い医療を地域で安定的に提供できる医療施設の確保に向けた支援を実施するとともに、市内の恵まれた医療環境を有効に機能させ、初期的な救急から高度な救急までの救急医療体制の維持、充実に図ります。			
目標とする状態	より高度な医療が受けられる医療施設や災害時の医療拠点及び充実した救急医療体制が市内に整備されており、必要なときに適切な医療を受けることができます。			
目標の達成度を測る指標	【指標名】		区分	
			【当初値】	【目標値】
	「災害医療拠点病院」の指定数		1カ所	2カ所
市内医療機関における救急医療の実施率(内科、外科)		100%	100%	
施策を構成する「主な事業」	主な事業		事業の概要	
	伊勢原協同病院移転新築支援事業		保健医療の向上と、地域医療の充実及び医療水準の向上を図るため、市内唯一の公的医療機関であり、二次救急医療機関である伊勢原協同病院の移転新築を支援します。	
	救急医療体制整備事業		安定した救急医療環境を確保するため、一次から三次までの救急医療機関の救急医療体制づくりを支援します。	

施策実施 (D)

指標の達成状況	【指標名】	当初値	目標値	目標の方向	実績・見込(下段：達成率)			
					H25	H26	H27	H29見込
					「災害医療拠点病院」の指定数	1カ所	2カ所	↗
市内医療機関における救急医療の実施率(内科、外科)	100%	100%	→	100% 100%	100% 100%	100% 100.0%	100% 100.0%	

コスト	年度	H25年度 実績額		H26年度 実績額		H27年度 実績額		H28年度 予算額		H29年度 計画額	
	事業費合計(a)	135,402	千円	252,505	千円	324,328	千円	135,706	千円	135,706	千円
	人件費合計(b)	2,772	千円	352	千円	261	千円	261	千円	261	千円
	トータルコスト(a)+(b)	138,174	千円	252,857	千円	324,589	千円	135,967	千円	135,967	千円

市民意識	項目		平成27年度	満足度と重要度の相関図		A 優先的課題 B ニーズ充足 C 現状維持 D 選択的課題 1.20	その他の市民ニーズ、意見 ・西部地区は、開業医が少なく不安を感じる ・救急体制、医療機関はすばらしいと感謝している ・もっと地元の医者を利用するよう広報してほしい ・医療機関の連携には助かる ・そこに住む人間が健康でなければ良いまちづくりはできないのではないかと	
	満足度	施策の値	0.96	↑ 重要度 ↓	← 満足度 →			0.32
		平均値	0.32					
	重要度	施策の値	1.67					
平均値		1.20						

■施策を構成する「主な事業」の目標達成状況

NO.	事業番号	事業名	事業指標	当初値	H27年度目標	H27年度実績	目標達成状況	所属名
1	02-101	伊勢原協同病院移転新築支援事業	財政支援の実施	支援に向けた調整	財政支援の実施	財政支援の実施	◎	健康管理課
2	02-102	救急医療体制整備事業	救急医療の実施率	100%	100%	100%	◎	健康管理課
3								
4								
5								
6								
7								

■施策を構成する「主な事業」の平成28年度評価結果(平成27年度事業分)

NO.	事業番号	事業名	進捗状況	実施水準	有効性	効率性	今後の方向性	所属名
1	02-101	伊勢原協同病院移転新築支援事業	A	—	B	A	A	健康管理課
2	02-102	救急医療体制整備事業	A	—	B	A	A	健康管理課
3								
4								
5								
6								
7								

↓ 評価 (Check)へ

評 価 (Check)

指標(施策の目標)の達成度評価 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 既に達成している(A) <input type="radio"/> 順調に進捗している(B) <input type="radio"/> 遅れているが達成する見込み(C) <input type="radio"/> 遅れており達成が見込まれない(D)	A	左記判断理由	「災害医療拠点病院の指定数」、「数市内医療機関における救急医療の実施率(内科、外科)」は、平成27年度で目標を達成している。
「目標とする状態」に向けた取組手法の有効性 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 高い(A) <input type="radio"/> 普通(B) <input type="radio"/> 低い(C)	A	取組による成果	安定した救急医療環境を確保するため、一次から三次までの救急医療機関の救急医療体制づくりを支援した。また、地域医療の充実、医療水準の向上を図るため、伊勢原協同病院の移転新築を支援した。
市民意識の反映 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> 反映している(A) <input type="radio"/> 概ね反映している(B) <input type="radio"/> 反映できていない(C)	A	左記判断理由	本施策は、満足度、重要度ともに全37施策の中で一番高く、平成21年度調査の時点より満足度が大幅に上昇している。引き続き、医療機関等との連携・強化を図り、本施策の更なる推進を図る。
施策を取り巻く環境変化	急速な高齢化の進展、生活習慣病の増加などの疾病構造の変化、医療技術の高度化・専門化、市民の健康に対する意識の高揚など、近年、保健医療を取り巻く環境は著しく変化し、その対応は多様化している。			
施策推進上の課題	今後の医療需要を考慮しつつ、必要な機能の確保や連携体制の構築を進め、市民が必要な時に必要な医療を継続して受けられる医療提供体制を確保していく必要がある。			

↓ 施策の改善 (Action)へ

施策の方向性 (Action)

今後の方向性の判断	取組の方向性 〔選択〕	<input type="radio"/> 拡大して実施 <input checked="" type="radio"/> 継続実施 <input type="radio"/> 縮小して実施 <input type="radio"/> 抜本的見直し	左記判断理由	市民が、いつでも安心して適切な医療が受けられるよう、より質の高い医療を地域で安定的に提供できる医療体制を確保するとともに、現行の救急医療体制の堅持に向け、医療体制の維持、充実に向けた支援を引き続き実施する。
	施策の方向性 〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 見直し	左記判断理由	地域の医療機関の機能強化や救急医療体制の維持、充実を支援し、市民がいつでも安心して適切な医療が受けられるように、質の高い医療サービスを切れ目なく提供できる医療体制の維持、充実を図る。